

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 消防力・救急救助体制の充実
-----	-----------------

施策主管課	消防局総務課	総合計画記載頁	100ページ
-------	--------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	7 危機への備え・対応力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	市民、地域、行政の危機への備え、対応力が高まり、地震や風水害をはじめとするさまざまな危機が発生した場合に、適切な行動ができるようになっています。
------	-----------------------------	----------------	------------------	---------------------	--

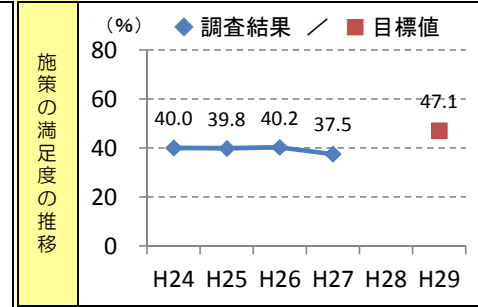
2 施策の取組状況

施策目標	災害による被害を最小限に抑えるとともに、救命効果を高めるための、迅速・的確な消防、救急、救助体制が整っております。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果 指標3	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	気管挿管・薬剤投与ができる救急救命士数	単年度目標値	26	41	47	53	59			65	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	40.0%	39.8%	40.2%		37.5%
現状値		21	実績値	29	41	47	53			目標値(H29)	47.1%			前年度からの増減		-0.2%	0.4%	-2.7%		
目標値(H29)		65	単年度の達成度	111.5%	100.0%	100.0%	100.0%			③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B	
指標2	普通救命講習及びその他の救急指導受講者数	単年度目標値	44,000	54,000	64,000	74,000	84,000	94,000	A	【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29		
	現状値	34000	実績値	46,621	58,286	70,786	91,757					火災発生件数/市民1万人	中核市平均	3.2	3.31	3.05	3.21			
	目標値(H29)	94000	単年度の達成度	106.0%	107.9%	110.6%	124.0%					実績値	3.89	3.96	3.25	3.32				
		単年度目標値										中核市での本市の順位	33位/41市中	35位/41市中	28位/42市中	25位/43市中				
現状値		実績値										中核市平均	2429.57	2264.9	2633.1	2605.58				
目標値(H29)		単年度の達成度										実績値	2,505	2,536	2,575	2,611				
													中核市での本市の順位	23位/41市中	30位/41市中	28位/42市中	23位/43市中			

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・少子超高齢化などによる社会情勢の変化に伴い、消防需要は多様化し、今後も増加が見込まれる。また、地震・水害などの自然災害は大規模化し、建築構造の変化により、火災への対応は高度化している。このような状況の中、本市消防局は、市民ニーズに即した対応をするとともに、年々増加する救急業務、火災予防業務の高度化に、迅速・的確に対応することが求められている。	市民満足度	第5次総合計画に基づき、「消防力・救急救助体制の充実」に向け、「消防救急無線デジタル化整備事業」及び「緊急消防緊急通信指令システム更新整備事業」が完了し、通信体制の強化が図られた。また、計画的に消防車両整備に取り組んでおり、さらには、効果的・効率的な消防施設整備の推進を図ることで、今後も、市民満足度の向上につなげていく。	総合評価	83点
施策指標	・多岐にわたる災害や増大している市民ニーズ等に迅速・的確に対応することが求められている中、より高度な処置が可能となる、気管挿管・薬剤投与ができる救急救命士数は、救急業務高度化推進計画に基づいた教育訓練等の実施により、計画年次から目標達成率100%以上の水準を維持している。また、普通救命講習及びその他の救急指導受講者数についても、広報紙の発行などの広報活動により、100%を超える水準となっており、今後も維持向上を図る。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H27事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	消防力の整備検討	★	消防施設の配置適正化や機能強化のため、効果的・効率的な消防施設整備を図る。	消防施設	基礎調査・研究	計画どおり	712	H27		研究結果を基に、効果的・効率的な消防施設整備の推進に向け、全庁的な施設マネジメントとの整合性を図りながら、「(仮)宇都宮市消防施設整備計画」の策定を図る。
2	消防団各分団運営交付金		消防団員の確保	消防団(定員2,150名)	消防団の各分団での会議運営・訓練等の助成	計画どおり	10,810	S51		消防団は地域防災の中核を担う組織であることから、将来に渡る消防団員の確保や、消防団員の技術の向上を図るため、運営交付金の助成を継続し、地域防災力の向上を図る。
3	消防団互助会補助金		消防団員の確保	消防団(定員2,150名)	全団員が加入する消防団互助会への支援	計画どおり	2,150	S30		地域防災の中核である消防団員に対し、よりよい活動環境を整備するため、共済事業及び福利厚生事業を推進することで、地域防災力の向上を図る。
4	消防施設整備事業	★	消防団施設・車両・資器材の整備	市民	消防団詰所建替工事棟数4棟	計画どおり	122,540	S24		消防団詰所は地域防災の拠点施設であるが、耐震化が未済である詰所について、建替工事を実施し、耐震化及び機能拡充を図ることで、地域防災力の向上を図る。
5	火災予防事業		防火意識の高揚及び火災予防の普及啓発	市民、幼年、少年消防クラブ員及び婦人防火クラブ員	・防火作品の募集 ・幼年消防クラブ防火のつどいの開催	計画どおり	772	S24		人的要因による火災を防止するためには、市民の防火・防災意識の高揚、適切な対処法及び幼少期における火気の正しい取り扱い方の習得が必要であることから、効果的な火災予防啓発により、火災予防事業を推進していく。
6	婦人防火クラブ助成金		婦人防火クラブ活動の活性化	婦人防火クラブ員	・消火競技会の開催 ・消防学校一日入校の開催 ・防火広報の実施	計画どおり	1,350	S55		火災件数のうち、住宅火災が高い割合を占めることから、婦人防火クラブの活動を活性化し、より効果的な防火意識の高揚を図る。
7	消防車両等購入費		消防力の充実、強化	市民	消防車両の整備	計画どおり	97,836	S24		老朽化した消防車両等を最新の消防機器を備えた車両に更新し、各種災害に迅速、的確に対応できる体制の充実強化を図る。
8	防火水槽建設事業	★	大震時における消防水利の確保	市民	防火水槽の建設	計画どおり	6,588	S25		大規模地震等の災害時における被害を最小限に抑制するため、耐震性を有する消防水利の確保が必要であり、計画的に防火水槽の整備を推進していく。
9	水防訓練事業		災害活動における関係機関との連携強化及び作業能力、技術の向上	市民、消防団員、関係機関(国、県、町)	水防訓練の実施	計画どおり	2,572	S35		局所的集中豪雨などの水害に対し、被害を最小限に抑制するため、水防体制の充実強化を図り、さらには、市民に対し防災意識の高揚を図ることで、地域防災力の向上を図る。
10	消防通信指令システム更新事業	★	119番通報受理や災害現場活動の通信を高度化し、組織力を持って迅速確実に災害対応する	消防緊急通信指令システム	消防緊急通信指令システムの受理能力向上	計画どおり	754,780	H24		新システムの機能を最大限に発揮し、複雑化・大規模化する災害や、高齢人口の増加に伴う救急需要の増大など、ますます高まる市民ニーズに適切に対応するとともに、災害情報共有システムを活用して防災関係部局との連携強化を図る。
11	消防救急無線デジタル化事業	○★	効率的な消防救急活動の支援及び音声品質向上と通信の秘匿性を確保する。	消防救急デジタル無線	県内全ての消防機関による共同整備	計画どおり	540,302	H23		高度化した情報通信機能を効果的に運用し、消防救急活動の更なる充実と、県域ネットワークを活用した広域応援通信体制の強化を図る。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆消防救急無線は、平成27年度末に整備が完了し、また、併せて消防緊急通信指令システム更新整備も完了した。 ◆火災や救急事案、広範にわたる災害などから市民の安全・安心な生活を確保するため、消防施設整備などに計画的に取り組んでいく必要がある。 ◆消防団組織は、地域防災力の中核を担っており、運営交付金の使途の明確化を図りながら、活動に対する助成の継続や、消防団活動の支援等による消防団員確保に努めていく必要がある。また、消防団員の確保のため、福利厚生事業や共済事業を通じ、消防団員の環境づくりに努めることや、互助会補助金のあり方について、考慮しながら支援をしていく必要がある。 ◆市民の防災意識の向上は、火災の未然防止などにおいて重要となっていることから、火気の取り扱いについて正しい知識を身に付けさせるなど、効果的な火災予防事業を推進していく必要がある。 ◆大規模災害の発生に備え、防災体制のさらなる充実強化を図るとともに、市民への防災に対する意識啓発に取り組んでいく必要がある。 ◆消防・救急需要に的確に対応するため、将来推計や研究結果を基に、効果的・効率的な消防施設整備を図る必要がある。 	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆複雑多様化・高度化している災害や、増加する救急需要に對的確に対応するため、引き続き消防車両の計画的な更新や、消防施設整備の検討、地域防災力の向上などにより、消防力の充実強化を図っていく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆消防救急無線のデジタル化事業が完了し、情報通信機能の高度化が図られたところであり、その機能を効果的に運用することで、消防救急活動の更なる充実と、県域ネットワークを活用した広域応援通信体制の強化を図る。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>